

熊本県立松橋特別支援学校、熊本県立松橋西特別支援学校との交流を終えて
福島県立相馬養護学校高等部主事

貴重でかつとても有意義な交流を行うことができましたことを生徒、職員共に感謝申し上げます。ありがとうございました。

□お互いの自己紹介では名前と生徒会の役職をしっかりと言うことができました。



(先生方からも自己紹介をしていただきました。)

□本校の校舎見学では本校生徒会長の案内により見学しました。歩きながらすぐに打ち解けて楽しく会話している姿が見られました。



(恵まれた環境とは言えませんが、生徒達はここで精一杯学習に運動に取り組んでいます。)

□学校紹介では自分たちの学校の説明を自分の言葉で紹介してくれました。一生懸命に話している姿に感銘を受けました。本校の学習の様子はビデオで見ました。



(お互いの学校や学習の様子を知ることができました。みな熱心に聞いていました。)



□また、相馬市の 3.11 のときの被災の写真も同様に熱心に見ていました。午前中の海浜清掃活動や本校への移動中に写真の場所や名前がでてきて、なお一層身近に感じていたようです。

□衝撃的な画像を食い入るように見ていました。改めて震災の悲惨さを知ることができたようです。

□レクリエーションでは相馬市の方言を生徒達が演じて意味を当ててもらいました。「かいちゃに着る」「びんこ」「べこ」「なじょした」など真剣に考えて、発表していました。熊本県の方言も教えたいと言ってくれましたが、時間の関係でできませんでした。



申し訳ございませんでした。挙手をして意欲的に発表していました。「なまっていますね」とも言われました。(笑い)標準語を話しているつもりなのですが？。

□続いて、ささやかではありますが、本校で製作した作業製品のプレゼントを差し上げました。また、貴校様よりいただいたプレゼントは大切に使用させていただきます。記念写真ではすっかり親しげな表情で微笑ましさを感じました。最後に一人一人感想を発表しました。自分の言葉で一言一言しっかりと発表していました。



□とてもすてきな時間を共有することができました。また、笑顔がたくさん見ることができました。本当にありがとうございました。